

※※ 機械器具(32)医療用吸引器
一般医療機器 真空吸引器 (36778000)

特定保守管理医療機器

壁掛式吸引器 HK-410型

【警告】

・アダプタプラグのピンが折れたもの、変形したものは絶対に使用しないこと。

〔他のガスのアウトレットにつながり、ボトルなどが破裂し、けがの原因となります。〕

・ひび割れあるいはキズが生じたボトルは絶対に使用しないこと。

〔破裂し、けがの原因となります。〕

・アウトレットへの接続前に必ずアダプタプラグが吸引用（ガス識別色：黒）であることを確認すること。

〔吸引用以外のアダプタプラグを使用すると、他のアウトレットにつながり、ボトルなどが破裂し、けがの原因となります。〕

・ボトルの取り付け・取りはずしおよび持ち運びのとき、落とさないこと。

〔けがをしたり、飛散した吸引物（体液など）により感染する原因となります。〕

・本器の持ち運びは、必ずハンドルを持っておこなうこと。

〔真空計を持つとボトル部が抜け落ち、けがをしたり、飛散した吸引物（体液など）により感染する原因となります。〕

・改造やご自身での修理は絶対にしないこと。

〔正常な機能や安全を保てなくなります。〕

・壁掛け用フックに本器を取り付けるときは、確実におこなうこと。

〔確実に取り付けないと少しの振動や衝撃で本器が落下するおそれがあります。〕

・使用中に本器を分解しないこと。

・保守点検は必ず実施すること。

・点検で異常の発見された機器は絶対に使用しないこと。

※※ 2. 仕様

(1)真空計	目盛範囲 0 ～ -100 kPa 最少目盛 2 kPa
(2)吸引圧力調整範囲	0 ～ -66.7 kPa (吸引配管内圧力範囲で調整可能)
(3)ボトル容積	約1500 mL
(4)フロート作動容積	約1000 mL

3. 寸法および質量

寸法：379mmH×120mmW×172mmD
質量：約1.2 kgf(空質量)

4. 作動・動作原理

医療用吸引配管設備のアウトレットからアダプタプラグ ①、②

※ いずれかを介して導かれた吸引圧力は、吸引圧力調整器部により所要の圧力に調整される。この負圧により汚物を吸い込みボトル⑬内にためる。

なお、汚物の量が一定量を超えると内部のフロート⑮がその浮力により上昇し、空気の通路を塞ぎ汚物の流入を自動的に停止する。

※※ 【使用目的又は効果】

医療用吸引配管設備のアウトレットに取り付け、主として回復室、病室などで、術後の患者の汚物を吸引する。

※※ 【使用方法等】

使用方法の詳細については、取扱説明書の4項を、使用後の手入れについては5項をご参照ください。

1. 各部の組立方法

- (1)吸引圧力調整器部とボトル部はレバー⑧を軽く下へ押しながら、キャップ⑦の上面中央にある溝部と吸引圧力調整器部の下部を合わせ、“カチッ”と音がするまで溝部に沿ってまっすぐに抜き差しし、取り付け、取りはずしをする。
- (2)キャップ⑦とハンドル⑪は、ハンドルレバー⑫を持ち上げるまたは押し下げることで、取り付け、取りはずしをする。

※※ 2. 使用方法

- (1)吸引圧力調整器部とボトル部を接続した状態で、吸引圧力調整器部の背面にある引っ掛け部を、アウトレットパネル等のフックに取付ける。

※ (2)アダプタプラグ ①、②いずれかを吸引用アウトレットに差込み、パイプ⑨にお客様でご使用のチューブを接続し2つ折りに閉塞後、吸引圧力調整用ノブ④にて所要の吸引圧力に調整する。

- (3)吸引を一時停止したいとき、あるいは短時間使用しないときは吸引停止用ノブ⑥を「CLOSE」側のピンに当たるまで回す。

- (4)吸引停止後、すぐに使用しないときは、吸引圧力調整用ノブ④を反時計方向へ止まるまで回す。

- (5)使用後は速やかに壁掛け用フックおよびアウトレットより本器を取りはずして手入れをおこなう。

3. 使用後の手入れ

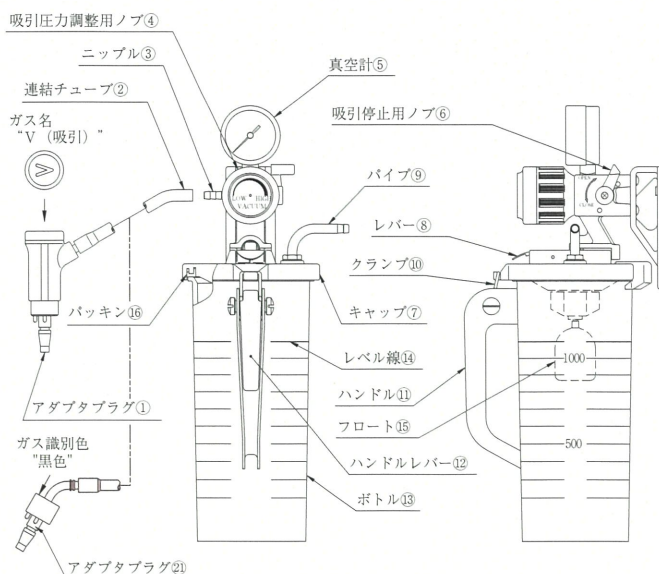
- (1)所定の廃却処理場で吸引物を廃却する。
- (2)ボトル⑬、フロート⑮ならびに周辺部品を洗浄および消毒する。

【形状、構造および原理等】

1. 構成

吸引圧力調整器部①～⑥、②①

※ ボトル部⑦～⑮



取扱説明書を必ずご参照ください。

4. 使用方法に関する使用上への注意
 - (1)ボトル⑬の滅菌にフェノール系消毒剤（クレゾールなど）は使用しないこと。
 - (2)ハイアミンやオスバンなどの使用禁止消毒剤は使用しないこと。
 - (3)熱湯での洗浄および蒸気滅菌をしないこと。
 - (4)パイプ⑨が吸引停止用ノブ⑥の操作の妨げにならないように十分、下方に押し込むこと。
 - (5)高い吸引圧力で吸引しているとき、急激な管路の閉塞・開放（つまり、チューブをつまんだり、離したりする）を繰り返すと真空計⑤の指針が狂う場合があります。
 - (6)ボトル⑬の洗浄には軟らかいスポンジを使用すること。

消毒剤の選定には下表をご参照ください。

一 般 名	商 品 名	適否
グルコン酸クロルヘキシジン	ヒビテン・グルコネート ヒビテン・マスキング液	○
グ ル タ ー ル アル デ ヒ ド	ステリハイド	○
両 性 界 面 活 性 剤	テゴー５１ アノン３００	○
エ チ ル アル コ ー ル	消毒用エタノール	○
ポ ピ ド ン ヨ ー ド	イソジン	○
石 炭 酸	局方フェノール クレゾール石ケン液	×
塩 化 ベ ン ザ ル コ ニ ウ ム	オスバン	×
塩 化 ベ ン ゼ ト ニ ウ ム	ハイアミン ハイアミンＴ	×

【使用上の注意】

- ・本器と共に収納されている取扱説明書を必ず読み、不明な点があれば取扱説明書で再度確認してから使用すること。
- ※ [正常な機能や安全を保てなくなります]
- ※ ・アダプタプラグ(①、②いずれか)の先端にキズがついたものは使用しないこと。
- ※ [アウトレットのパッキンにキズをつけ、ガス漏れの原因となります。]
- ※ ・アダプタプラグ(①、②いずれか)は、配管設備の吸引用アウトレットに「カチッ」と音がするまで確実に差し込むこと。
- ※ [落下し、破損する可能性があります]
- ※ ・フロート⑮をはずした状態またはフロート⑮が動かない状態で使用しないこと。
- ※ [吸引物(体液など)がオーバーフローして吸引圧力調整器の故障や配管を詰まらせる原因となります。]
- ※ ・ボトル⑬内の汚物は、ボトル⑬に記入のレベル線⑭に達するまでに捨てること。
- ※ [吸引物(体液など)がオーバーフローして吸引圧力調整器の故障や配管を詰まらせる原因となります。]
- ※ ・使用後は速やかに洗浄すること。
- ※ [吸引物(体液など)が凝固してフロートが作動しなくなります。]
- ※ ・使用中に真空計⑤の指針が振れることがありますが、故障ではありません。
- ※ [吸引物(体液など)と共に空気を吸引している場合に発生し、空気の混入が多いほど指針の振れが大きくなります。]
- ※ ・吸引圧力調整器部は精密な構造のため、洗浄、消毒ならびに分解をしないこと。
- ※ [正常な機能や安全を保てなくなります]

※※【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

手入れ後、すぐに使用しないときは、乾燥させたのち、所定の保管場所にて保管すること。

保管場所の条件：水のかからない場所であること。

温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、いおう分等を含んだ空気等により、悪影響の生じるおそれのない場所であること。

傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）などのない場所であること。

化学薬品の保管場所やガスの発生する場所でないこと。

2. 耐用年数・使用期間
指定の保守・点検並びに消耗品の交換をした場合の耐用年数：５年（自己認証）

（使用状況および洗浄、消毒状況などの影響によって部品の劣化度合に差が生じ、場合によっては耐用年数に達する前に交換して頂くことがあります。）

【保守・点検に係る事項】

保守点検の詳細については、取扱説明書の６項をご参照ください。

※※ 1. 使用者による保守点検事項

(1)点検項目(使用前点検)

- ・ボトル⑬の口部およびパッキン⑮、ジョイントシール⑳、にキズ、亀裂などがいないか。
- ・フロート⑮のはたらきは正常か。
- ・ボトル⑬は清潔か、ひび割れあるいはキズが生じていないか。
- ・吸引圧力の調整はスムーズにおこなえるか。
- ・アダプタプラグ(①、②のいずれか)にピンの折れや変形、先端のキズなどの異常はないか。

ジョイントシール⑳

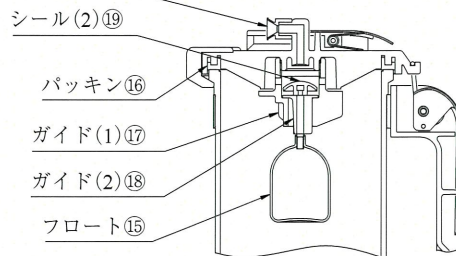
シール(2)⑲

パッキン⑮

ガイド(1)⑰

ガイド(2)⑱

フロート⑮



※※ 2. 業者による保守点検事項

安定した機能確保のために定められた期間毎に保守点検を実施すること。

(1)点検事項(1年毎※)

- ・真空圧力計の精度に異常はないか。

(校正用計器を用いて測る)

※「医療ガス保安監理ハンドブック」

編集：財団法人医療機器センター

※※【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

エアウォーター防災株式会社

※※

販売業者[代理店]